

# ホームレス支援炊き出しボランティア募集中!!

医療相談活動の様子



炊き出し当日の会場の様子。



日時:12月28日(日) 10:00~16:00

会場:三宮・東遊園地

**集合** 9:40 JR三宮西口改札

**内容** 医療相談、健康調査アンケート活動、炊き出し

**対象** 医学生、看護学生、薬学生、医師を目指す高校生・予備校生

**申込** 下記申し込み内容をご確認下さい。

**締切** **12月23日(火)** ※参加者のボランティア保険登録のため

\*雨天決行です。

\*動きやすく、あたたかい服装でご参加下さい。

炊き出しの準備中



お話を聞きながら健康調査アンケート



★お問い合わせ・お申し込み★

兵庫民医連・医学生ボランティア係 ☎E-mail : igakusei@hyogo-min.com (右記QRコードからでも可)

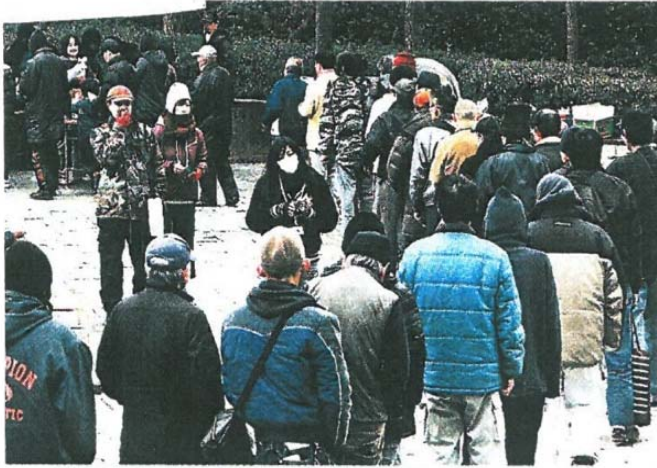
※件名に「炊き出しボランティア参加希望」、本文に「学校名・学年・氏名・年齢・(当日連絡のとれる)電話番号」を入力下さい。

—兵庫民医連—



12.29 神戸

## 神戸で炊き出し始まる



炊き出しを求め、今年も路上生活者らの長い列ができた＝28日午後、神戸市中央区加納町6（撮影・辰巳直之）

年末年始を迎える路上生活者らを支えるため、市民団体による炊き出しが28日、神戸市中央区の東遊園地で始まった。厳しい雇用状況が続く中、初日から長い列ができ、支援者らが温かい食事を提供するとともに生活相談にも応じた。

# 雇用厳しく しみる寒風

## 県、生活相談窓口を開設

NPO法人「神戸の冬を支える会」などが毎年行い、17回目。1月5日までの期間中は毎日午前10時～午後3時半、年越しそばや雑煮などの炊き出しを振る舞うほか、生活、健康相談や散髪のプロースを設ける。

初日は、カレーライスとスープ、コーヒーが提供された。3年前に大阪府西成区から神戸に移り、路上生活を続ける男性(47)は工場作業などで収入を得てきたが、4カ月前に仕事を失った。「職業安定所に通っているが、仕事がない。生活費もそろそろ底を尽きるので不安だ」

神戸市兵庫区のアパートで生活保護を受けて暮らす別の男性(69)は「生活はぎりぎり苦しい。炊き出しは食費を節約できるのでありがたい」と話した。

同会の副理事長、柴田信也さん(47)は「路上生活者は減少傾向だが、雇用が不安な人は増えている。社会の仕組みの中でうまく支えられるようにしたい」と力を込めた。

一方、兵庫県は12月29日～1月3日午前10時～午後4時、生活相談に応じたり、食事、一時宿泊所を提供したりする窓口を開設。きずなサポートセンター

0120・018・8882  
(宮本万里子)



兵庫民医連では、毎年「神戸の冬を支える会」と一緒にホームレス支援を行なっています。毎年、医師・看護師をはじめ病院スタッフと医系学生が一緒になって、テントの設営、炊き出しの準備、健康調査アンケート活動に取り組んでいます。この取り組みは、神戸新聞でも取り上げられました。

ボランティア後は、医系学生同士での交流会を予定しています。

みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

### ◆◆◆参加学生の感想◆◆◆

炊き出しに来られた方で、前日にネットカフェで持っていた全財産を失った方がいました。生活保護も受けておられず、その方のこれからを思うととても不安でした。貧困が見えにくくなっていると言われていますが、そのことを実感しました。  
(医学部5年生)

医療は病院だけでなく、社会でもいろいろな取り組みがされているのだなあと思いました。  
(高校3年生)

研修医の先生やソーシャルワーカーさんのお話も聞くことができ、生活保護について話し合いを行うことができました。学生だけでない意見を聞くことができ、とても勉強になりました。  
(看護大学3年生)